



No. 2754  
2018年8月5日  
発行責任者 五十嵐敏  
編集責任者 武田昌仙

# 業績の還元をしない会社に落胆

## 貨物夏季手当 超低額回答に抗議する！



闘いの現状を報告する木元事務長

貨物会社は、6月18日、18年度夏季手当に関する申入れに対し、「基準内賃金の1・65＋0・08カ月分、7月6日支払い」の超低額回答を行った。地方本部は、指示62号を発し、貨物会社に対して抗議行動の展開を指示した。

仙台・郡山で「夏季手当 低額回答に抗議し再回答を求める集会」を開催

6月20日、福島県集会は郡山総合車両センター正門前で昼休み時間に開催し、福島県支部と郡工支部の組合員40人が結集。

また同日夕方、貨物宮城野駅門前で宮城県集会を開催。宮城県支部と仙総所支部組合員60人が参加した。宮城県集会において東北貨物協議会木元事務長は、「春闘時、会社は大きな決断と言いつつ、たった300円

### 貨物ロジが夏季手当回答

6月19日、ジェイアール貨物東北ロジステイクスは、国労東北協議会が5月24日に行った「夏季手当に関する要請」に対する回答をした。内容は、基準内賃金の

社員は2・0ヶ月分、嘱託社員は1・8ヶ月分、臨時雇用員は1・6ヶ月分の支払いを7月6日支払うというもの。※それぞれ昨年比0・1ヶ月増額の回答。

のベアを提示したが、今回も貨物で働く社員と家族を蔑ろにした超低額回答であり、怒りよりも呆れるばかり」と社員の期待を裏切り続けている貨物会社の姿勢を批判。

交渉経過では、「経常利益は91億円で8期連続の黒字。会社が言い続けてきた『鉄道部門の黒字化達成までは我慢を』も6億円の黒字決算。私たちの要求に応える体力は十分であり、手当を押さえつける理由は見当たらない。社員が正当な分配を受けるのは当然の権利。JR内最低の期末手当の低額支給を改め、経営判断で社員の労苦に慮るべき」と訴え交渉してきたと報告。さらに、「構造矛盾を解決せずに、我々社員にのみ犠牲を強いる会社の姿勢は問題」とした上で、「春闘に限らずこの期末手当、職場の合理化においてもストライキで闘う決意が国労に求められている」とし、現状打開に向けた闘いを訴えた。

貨物職場では創意工夫した闘いを展開してきた。また地方本部は客貨一体となった緊急抗議集会と合わせ、東北協議会として貨物東北支部に対し、再回答を求める申し入れを実施してきたが及ばなかった。なお国労本部は6月22日、妥結・整理した。【昌】



貨物会社に怒りの拳を突き上げる

6・30 各地方組織部長・書記長会議  
7・5 第12回執行委員会・闘争委員会他

7・12 東北自動車支部拡大委員会  
7・14 工務協議会定期委員会

## 「防犯」ではなく「監視」？

### 乗務員関連施設へのカメラ設置

JR東日本会社は、今年2月以降、乗務員関係施設（詰所等）への「防犯」カメラの設置を促進している。仙台支社も同様で、関係組合員からは、「監視されているようで、休んだ気がしない」「休憩室の真ん中には誰もいない。みんな端っこに居る」などの声がある。加えて現場では社員に対し丁寧な説明がなされておらず、不安感が募っている。

一般的に、「防犯目的」であれば、建物の出入り口に取り付けて、出入りする者を確認するために外側に取り付けるのが常識だ。しかし、このカメラは室内に取り付けられており、休憩中の社員の様子がそのまま映るといふ。窓口への説明によれば、①常時監視、モニタリングをしていない。②事象（事故や事件）が発生した時に確認する。③映像のみで音声はない。④24時間稼働、記録媒体に記録され書き期間は一週間程度。以上の内容であったが、「事象」の基準や映

像確認の基準、また確認者や立会者の問題など詳細は不明である。

休憩中の社員の映像を記録することは、個人情報保護の観点から違法性はないのか。また「見られている」という精神的圧力から、自由な休憩時間の活用や業務から解放されることを阻害していないのか。

地方本部は、現場の声や意見を集約し、交渉を検討している。現場の声を集約し地方本部に寄せてもらいたい。【昌】

## バス東北が夏季手当の回答

### 4年連続2・45ヶ月＋8万

6月15日、「2018年度夏季手当の申入れ（国労仙地申第18号）」に対し、2・45ヶ月プラス加算額8万円の回答が示された。

5月18日に申入れ以降、これまで3回の交渉を行い、会社は2017年度決算において減収・減益であることや仙台支店整備工場建て替え工事に伴う費用増大などを理由に、「組合要求は厳しい」旨の発言を繰り返していた。しかし内部留保金がすでに67億円に達しようとしており原資に何ら問題は

なく、ベアが見送られたことから強く要求してきた。

結果、社員の労に報いるということが何とか昨年と同額を確保することができた。私たちの要求からすれば納得できるものではないが、これを糧に秋季年末闘争をしっかりと取り組もう。（東北自動車支部No137より抜粋）

※「国労せんだい」をはじめとした各機関紙は、国労東日本本部ホームページ（<http://www.e-nru.com/>）の上部タブの「地方本部」↓「国労仙台地本」↓「各情報の指矢印」で閲覧できます。

# ユーズカンパニーに幕

## 宮城県支部が解散報告集会

7月6日、宮城県支部は、(有)ユーズカンパニー(元・国労稚内闘争団事業体)の解散報告集会をハルニル仙台で開催した。

集会には関係者58人が参加し、主催者を代表し、秋山宮城県支部委員長があいさつし、続いてユーズカンパニーを代表し、田中博氏が経過報告を行い、「この間、地域に根ざした独自の雇用創設と労働運動の両立に向けて闘争終結後も運営を続けてきたが、地域経済の冷え込み、原材料の高騰、構成メンバーの高齢化の中



経過を報告する田中氏

で、後進に引き継ぐ体制を確保するに至らず最終結論とした。今後の生活基盤については、再就職と議員活動、年金生活で何とか維持できると考えている。自分も稚内を離れることになった」と故郷を去る決断に触れたとき、感極まり言葉に詰まった。また闘争団を引き継いだ事業体ネット稚内は、交流と親睦を中心に運動を継続していくと報告し、この間の厚い支援に対しお礼の言葉を述べた。

来賓として、長年に亘り支援を賜った共闘団体を代表し、県平和労組伊藤副議長、仙台地方平和労組丹野議長から、また仙台地方本部を代表して原子書記長があいさつを述べた。

懇親会では、国労闘争団を励ます会、仙総所支部、元仙台闘争団の皆さんを中

### ユーズカンパニーとは

国鉄の分割・民営化により、不当解雇された組合員が、全国に36の「闘争団」を結成。解雇撤回闘争を継続するにあたり、当座の生活費を捻出するため事業体を立ち上げた。

国労稚内闘争団から事業体を引き継いだ(有)ユーズカンパニーは、闘争終結から7年(発足から36年)事業を継続していた。自前の雇用創設・地域貢献をめざし運営を継続してきたが、6月末で水産加工製造販売の営業を閉じ、10月を最後に最終整理をするとしている。



全員で組合歌を熱唱!

心にゆかりのある組合員やOBの皆さんなどから一言のあいさつを受けた。

会は終始和やかな雰囲気にも包まれ、終盤にはD51合唱団から厳選された2曲が披露された。

最後に参加者全員が輪になりスクラムを組んで国鉄労働組合歌を歌い上げ、秋山委員長の団結頑張ろうで散会した。【昌】

# 東日本大震災を忘れない絆の集い

## 震災から7年3ヶ月

7月8日、宮城県支部は東日本大震災で被災された組合員を対象にした「第7回東日本大震災を忘れない絆の集い」を駅東交流センターで開催し、被災された方5人を含む総勢26人が参加した。

この集いは、11年3月11日に発生した東日本大震災で、家屋の損壊を始め、ご家族を亡くされた組合員に寄り添い、共に励まし合い支え合うことを目的の一つに掲げ、近況報告や懇親をしながら激励行動を行うもの。

主催者を代表し、秋山宮城県支部委員長は、「防波堤や海岸整備も大切だが、未だ仮設住宅で暮らしている方もおり、生活基盤やインフラ対策に力を注ぐべき。また原発事故により、6万人の方が避難生活を余儀なくされている。支部は被災した組合員とその家族をどのような形で支援していくかについて議論を重ねてきた。月日の経過とともにあの出来事の記憶が薄らいでいくが、決して忘れずに一人ひとりがあの時の教訓を生かした取り組みを職場の中で実践してもらいたい」と述べ、さらに被災さ

遠慮せず何でも相談することを呼びかけた。

被災された方を代表し、石巻駅連合の大場さんは、「家は建ち、仕事も輸送エールに。だが亡くなった家族は戻らない。今も夢にでる。死ぬまで忘れられないだろう。だが下を向かず前を向いて生きたい」と述べ、分会や支部のこの間の支えに対し感謝の言葉を添えた。

その後懇親を交えながら、参加者全員が当時の様子や近況を報告し全体で確認した。途中ミニゲームが用意され、罰ゲームもあり大いに盛り上がった。【昌】



今後も支え合うことを確認した

### 仲間の異動

- 6月1日付 (出向)
- 長澤 昌幸さん (簡苦)
  - 岩切駅 ↓ 中野栄駅 (リビット)
  - (一般異動)
  - 平間 清さん
  - 名取駅 ↓ 岩切駅
  - 佐藤 正彦さん (簡苦)
  - 郡山駅 ↓ 小野新町駅

- 7月1日付 (一般異動)
- 白川 稔さん
  - 郡山駅 ↓ 仙台駅
  - 五十嵐 敬さん
  - 福島保線技術センター ← 郡山保線技術センター
  - 池田 充さん
  - 仙台信通技術センター (新庄メセ) ↓ (山形メセ)

### 退職のお知らせ

- 6月30日付
- 千葉 勝実さん (小牛田駅連合) (退職)
  - 大沢 亨さん (仙総車体) (JRTM)
  - 千尋 敏信さん (岩沼駅連合) (退職)
  - 山崎 亨さん (小牛田運輸区) (車両エルダー)
  - 菅野 聡さん (福島地区) (リビット藤田駅)
  - 柳沼 文夫さん (貨物車両所) (嘱託)
  - エルダー退職・嘱託
  - 長谷川 明男さん (仙台電車区) (テクノ東営業所)
  - 鈴木 寿弘さん (郡工車体科) (JRTM郡山)
  - 梅津 誠二さん (仙総車体) (JRTM新幹線)
  - 鈴木 幸紀さん (福島地区) (テクノ福島)
  - 阪本 恒夫さん (仙台保線区) (仙建工業)
- 長い間お疲れ様でした